

資産は前年度比1.8%減

商品ファンドでの運用も検討

商取業厚生年金基金

商品取引員、商品取引所など商品先物業界に属する企業、団体が加入している全国商品取引業厚生年金基金が発足以来、27年を迎えた。最近では商品ファンドも運用対象にすることを検討するなど運用も変わりつつある。同基金の概要をみてみよう。

146事業所が参加

同年金基金は1974年に発足した。当初、200以上の企業、団体が加入していたが、統合、合併、廃業などで漸減。現在、適用事業所は146となっている。ただ、商品先物業界の就業人口の増加とともに加入者は漸増、01年度末では1万7,997人と前年度末より713人多くなった。年金受給者は2,745人で、同151人増。

最初は順調に伸びた年金資産だが、最近では低金利で伸び悩み気味。01年度末では519億1,196万円と前年度末より9億2,492万円、1.8%の減少となった。これは運用の約4分の1を占める国内株式市場が低迷、15.09%もの値下がりとなったのが大きく響いた。

純資産額511億円

運用状況は別表の通りで、資産合計(時価)は513億1,907万円で、前年

度末比20億6,169万円、3.92%の大幅減になった。

運用実績が悪かったうえ、手数料、給付金がかさんだことによる。時価の運用額が資産額を6億円近く下回っているのは本来3月に入るべき掛け金が4月にずれ込んでいることなどによる。純資産額は511億円。

最低責任準備金は401億円。最低責任準備金とは同基金が解散した時、責任準備金

がそれを下回っている場合、その差額を国に納入しな

ればならない額。現在はそれを137億円上回っているが、その差は年々、縮まりつつある。しかも、今年度は株価の下落が続いており、さらに純資産が減少する可能性が高い。

オルタナティブで4%

そこで、同基金では新たな運用方法を模索し始めた。その一つがオルタナティブ(代替投資)で、その中に商品ファンドも入っている。

といっても、厚生年金基金は法律で独自の運用はできず、運用会社に資産の運用を委託することになっている。そこで、目下、運用会社に、商品ファンドでうまく運用できるかどうかを検討してもらっている段階だ。

同基金では資産の構成比率を11月よりオルタナティブを最低0%、最高5%、中心で4%にするよう改訂した。資産額511億円の

平成13年度の運用状況(時価)(単位:千円)

	期末時価資産	資産割合	総合収益額	収益率
公社債	6,471,590	12.6%	59,937	0.95%
転換社債	3,153,351	6.1%	-269,063	-8.26%
国内株式	12,955,270	25.2%	-2,167,482	-15.09%
外貨建債券	4,910,092	9.6%	391,621	7.71%
外貨建株式	6,656,819	13.0%	127,315	2.09%
その他資産	1,820,693	3.5%	-680	-0.04%
生保特別勘定	6,542,676	12.8%	-357,784	-5.55%
生保一般勘定	8,808,581	17.2%	154,441	1.66%
資産合計	51,319,072	100.0%	-2,061,693	-3.92%

東工取・東協振 TV特別番組提供9年目 金と石油の話題を追って

東工取先物市場振興協会と東工取が毎年秋にテレビ特別番組(テレビ東京系列による全国放送)を提供するようになって9年目に入った。先物取引についての表現・広告規制が厳しい中で、「教育番組」として長寿番組になり、上場商品・商取業界の一般向け啓蒙の役割を果たしている。

平成6年から同12年までの7回は、「黄金の話題大追跡」を共通タイトルにした。

1回目は「よみがえるシバング」がテーマで、司会に草野仁、東ちづるといふ強力メンパーを起用、全国各地に金鉱山を訪ねるとともに、宝飾加工、金細工、金箔、金箔食品などの話題を追った。また、経済に果たす金の役割や価格の決まり方、先物取引の持つヘッジ機能、資産形成の手段などについて解説した。

2回目のテーマは「人はなぜ金に魅せられるか」で、吉村作治さんと黄金、森末慎二さんと金メダル、御徒町金ショップ、財産としての金、政府の金保有、金先物取引の実際などを採り上げた。「金で夢みる男たち」と題した3回目は、小判千両を集めた取集家金のリサイクル、中国金事情、ニューヨークの先物投資家を追い、4回目の「それは金から始まった」

では、世界の指標となる金現物相場を決める英国ロスコチヤイルド社の「黄金の間」にカメラが入った。5回目の「これがゴールドパワード」では、ヒット商品と金の関係、有事に頼れる金の価値、海外アナリストの分析を、6回目の「エルドラド

伝説を追え」では、日本最大の金脈を探るドバイを訪れ、7回目の「金の時代が始まった」では、ヒット中の金色商品、黄金大陸インドを探訪した。昨年は9月の原油相場を記念して「燃える水の伝説、石油王たちの挑戦」と題し、巨大タンカーを徹底探検し、みちのくの油田、ガソリン王、テキサスの石油王、奇跡の繊維アラミドを追った。今年には金に戻り、11月24日放送で、米国同時多発テロ、ペイオフと金買い、日本初開催の砂金掘りワールドカップ、前田利家の黄金伝説、「ウィーン金貨千両箱」、NYMEXと東工取の紹介などの話題を盛り込んだ。

放送時間は年によって1時間30分〜1時間15分。費用は制作費、番組放送料、CM放送料を含め1回数千円。放送局は、テレビ東京、

テレビ北海道、テレビ愛知、テレビ大阪、テレビせとうち、TVQ九州放送の6局に、昨年からはBSジャパンが加わった。

アジア大会 ハンマー投げで銅メダル グローバリーの綾真澄選手

グローバリーの綾真澄選手は韓国の釜山で開かれたアジア大会14日目(10月12日)のハンマー投げで3位となり、銅メダルを獲得した。距離は62メートル18。同選手はこれまで、2度にわたって日本記録を更新している。

インター・ ホールディングスに たかま、社名変更

たかま(本社名古屋、竹永善次郎社長は9月22日付で社名を株)インター・ホールディングスに変更。

テレビ特別番組、9年の歩み

年月	題名	副題	司会	解説
第1弾 平成6年10月	黄金の話題大追跡	よみがえるシバング	草野仁 東 ちづる	井上宗道
2 7年10月	・	人はなぜ金に魅せられるのか	草野仁 中村ゆう子	河村幹夫
3 8年12月	・	金で夢見る男たち	辰巳順郎 藤 恵子	・
4 9年12月	・	それは金から始まった	渡辺 徹 大塚美代子	・
5 10年11月	・	これがゴールドパワード	渡辺 徹 高木 美保	・
6 11年12月	・	エルドラド伝説を追え	渡辺 徹 城戸真澄子	・
7 12年12月	・	金の時代が始まった	大和田 洋一 齊藤 慶子	・
8 13年12月	燃える水の伝説	石油王たちの挑戦 人類の偉大な財産「金」 の新时代が始まった	小倉久寛 奥山 佳恵	・
9 14年11月	黄金の話題大追跡	・	渡辺 徹 吉本多香美	・